

# ユニバーサルデザインに関するアンケート調査

平成28年10月 山梨県総合政策部政策企画課

県民の皆様ユニバーサルデザインがどのくらい認知されているかを調べるため、アンケートを実施しました。

## 1. アンケート調査の実施期間

平成28年7月15日～7月29日

## 2. 県政モニター数

398人

## 3. 回答数

	調査数
(1) 郵送によるアンケート調査	291人 (330人)
(2) インターネットによるアンケート調査	37人 (68人)

合計 328人

回答率 82.4%

## 4. 調査項目

回答者ご自身について質問した後、ユニバーサルデザインに関連する9の質問を行いました。

問1から問8は選択肢による回答、問9は自由意見による記述をお願いしました。

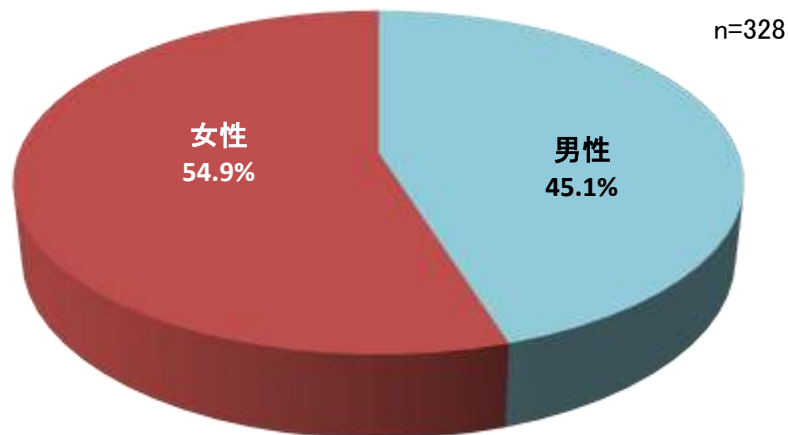
- ※ SA (シングルアンサー) 回答数を1つと限定した質問
- ※ MA (マルチアンサー) 複数回答の質問

## 5. 回答者の属性

### ① あなたの性別をお答えください。(S A)

性別は、男性が45.1%で、女性が54.9%となっています。

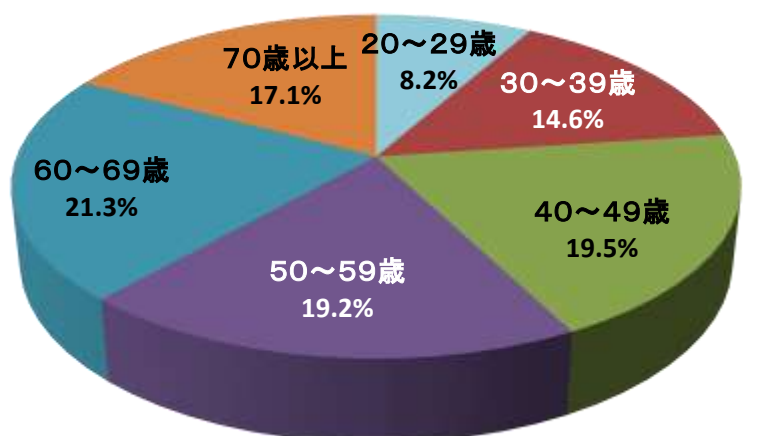
回答者の性別



### ② あなたの年齢をお答えください。(S A)

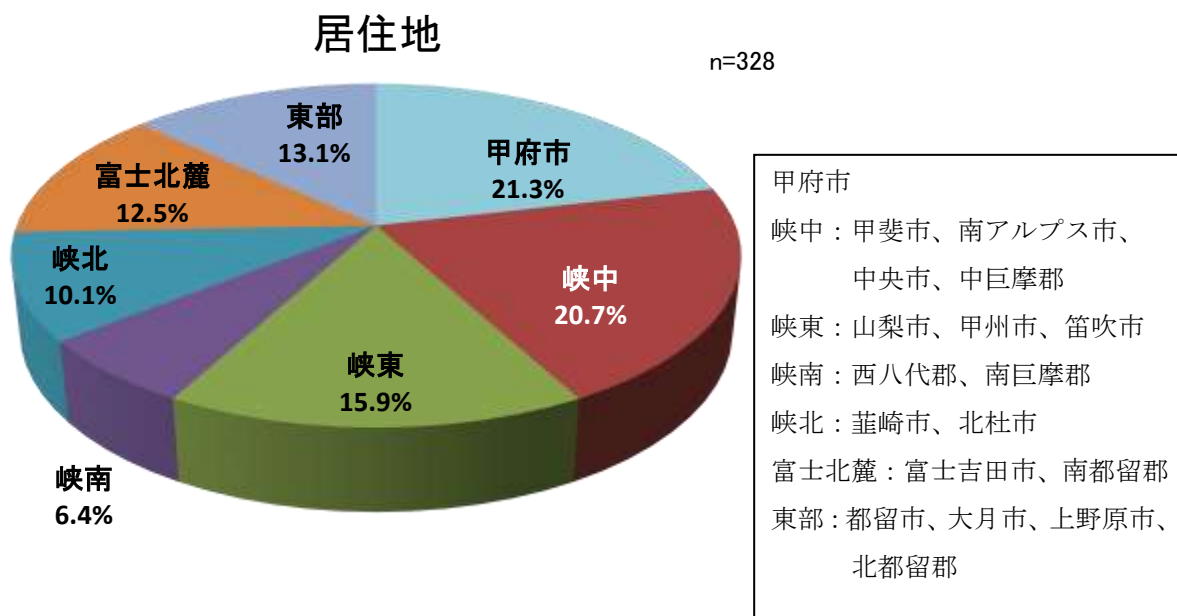
年代は「60歳代」が21.3%と最も多く、次いで「40歳代」(19.5%)、「50歳代」(19.2%)となっています。

回答者の年齢



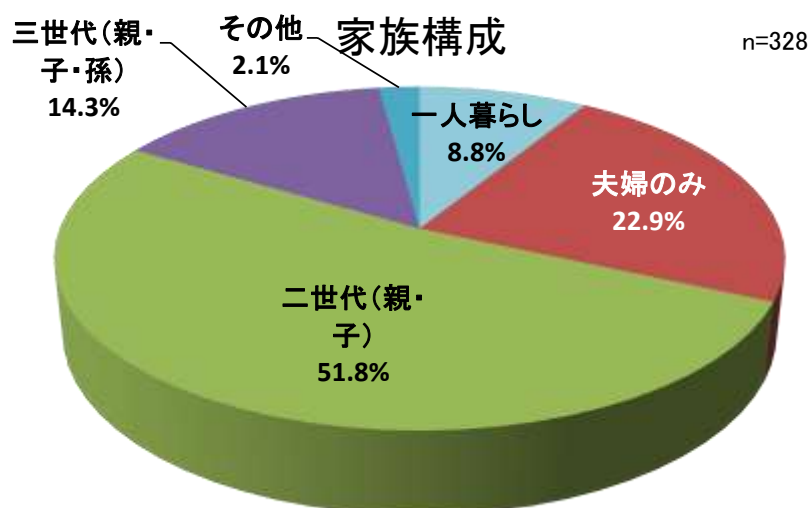
③ あなたのお住まいをお答えください。(SA)

居住地は、「甲府市」が21.3%と最も多く、次いで「峡中」(20.7%)、「峡東」(15.9%)となっています。



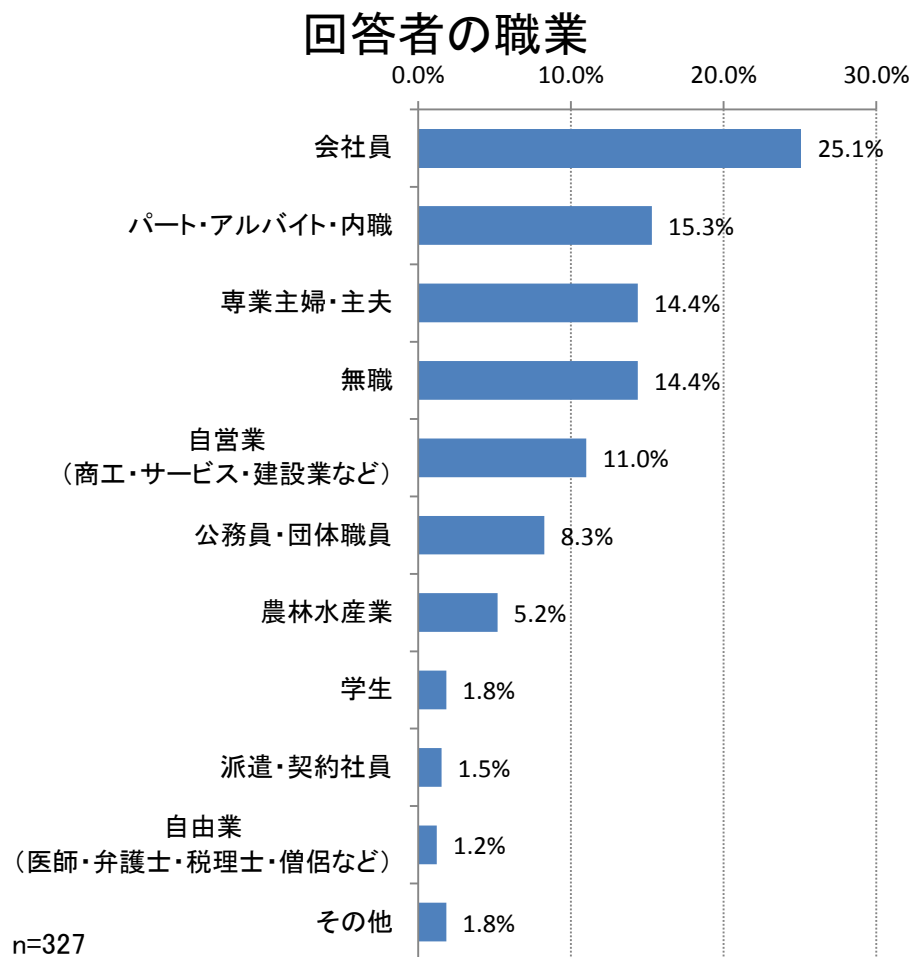
④ あなたの家族構成をお答えください。(SA)

家族構成は「二世代(親・子)」が51.8%と最も多くなっています。



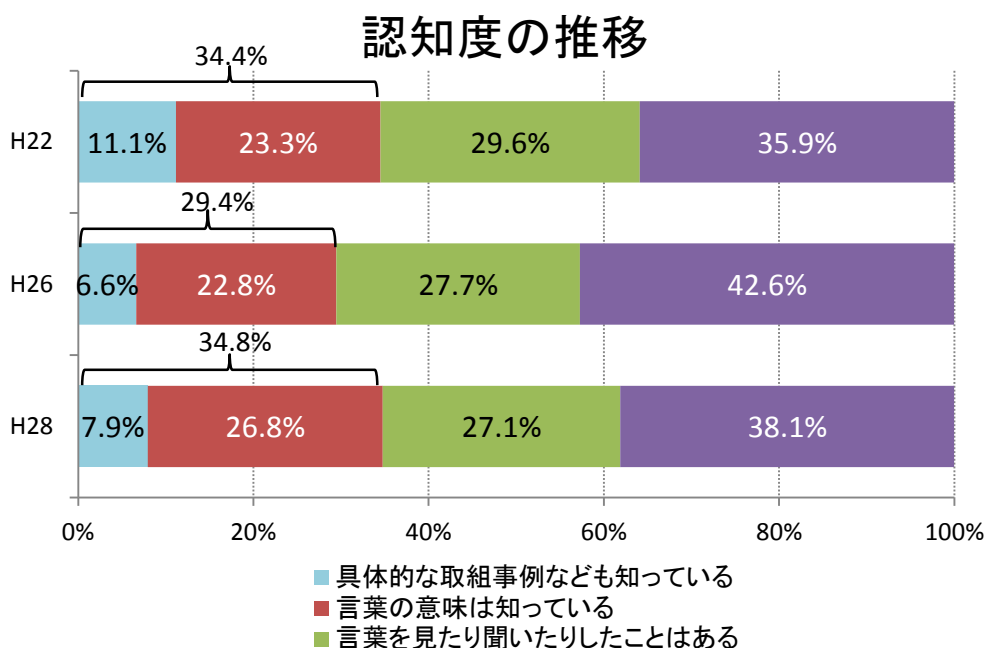
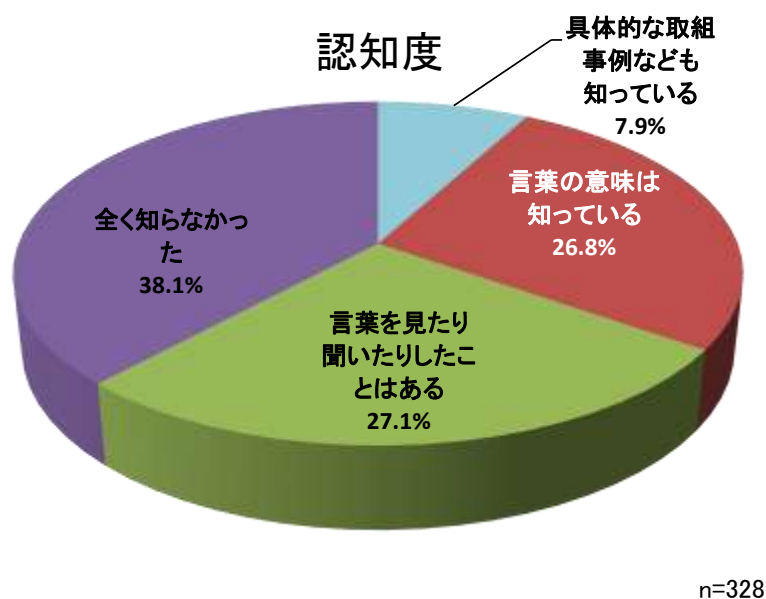
⑤ あなたの職業（兼業の方は主な職業）をお答えください。（SA）

職業は、「会社員」が25.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・内職」が15.3%、「専業主婦・主夫」と「無職」が14.4%となっています。



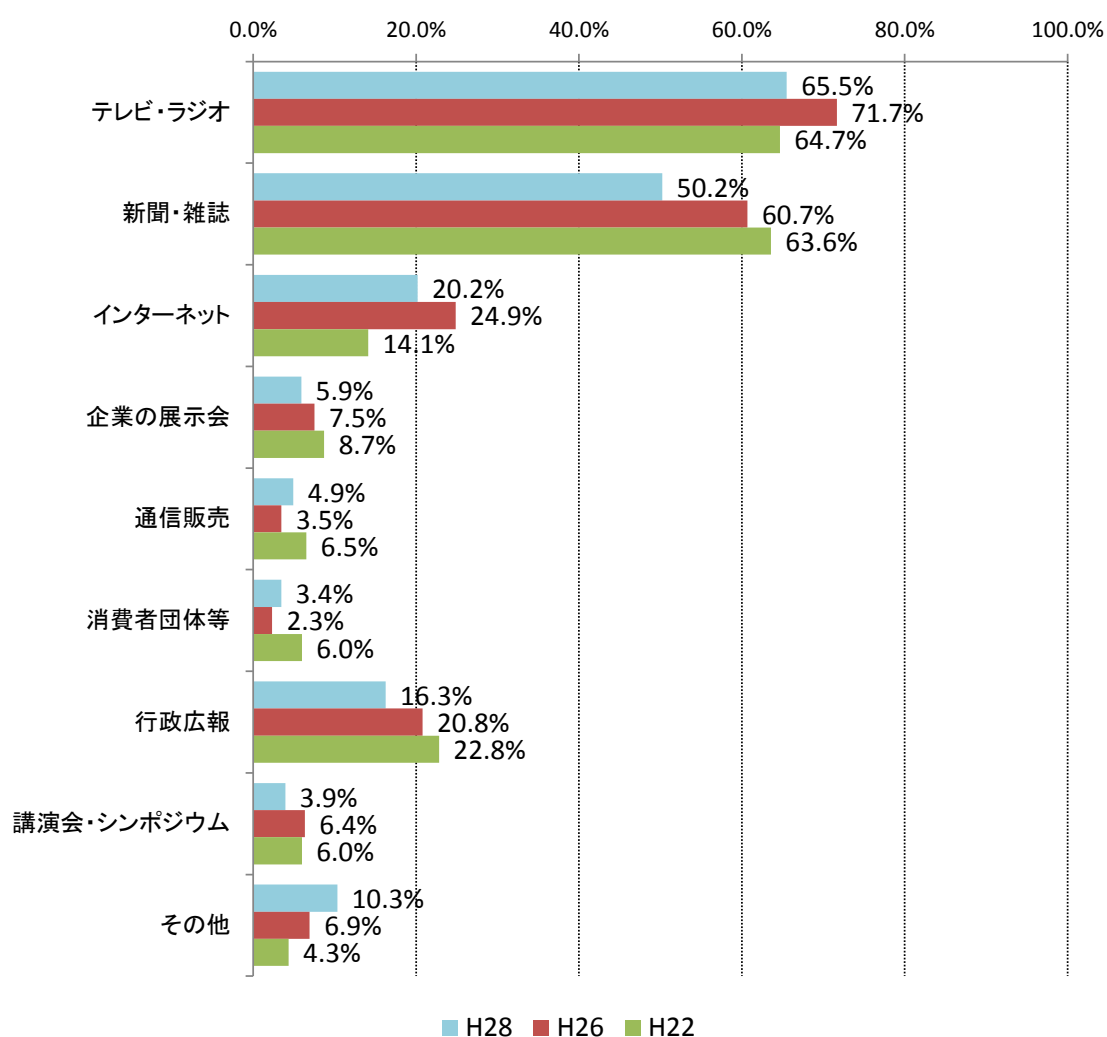
問1：ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、障害の有無など個人の様々な状況に関わらず、可能な限り多くの人々が利用できるデザインのことです。あなたは「ユニバーサルデザイン」という言葉についてどの程度ご存知ですか。（S A）

「ユニバーサルデザイン」という言葉の認知度については、「具体的な取組事例なども知っていた」、「言葉の意味は知っていた」をあわせると、前回調査（H26）から5ポイント上昇し、前々回調査（H22）とほぼ同水準となっています。



問2：ユニバーサルデザインに関する情報について、どのようなところで見聞きしたことがありますか。（MA）

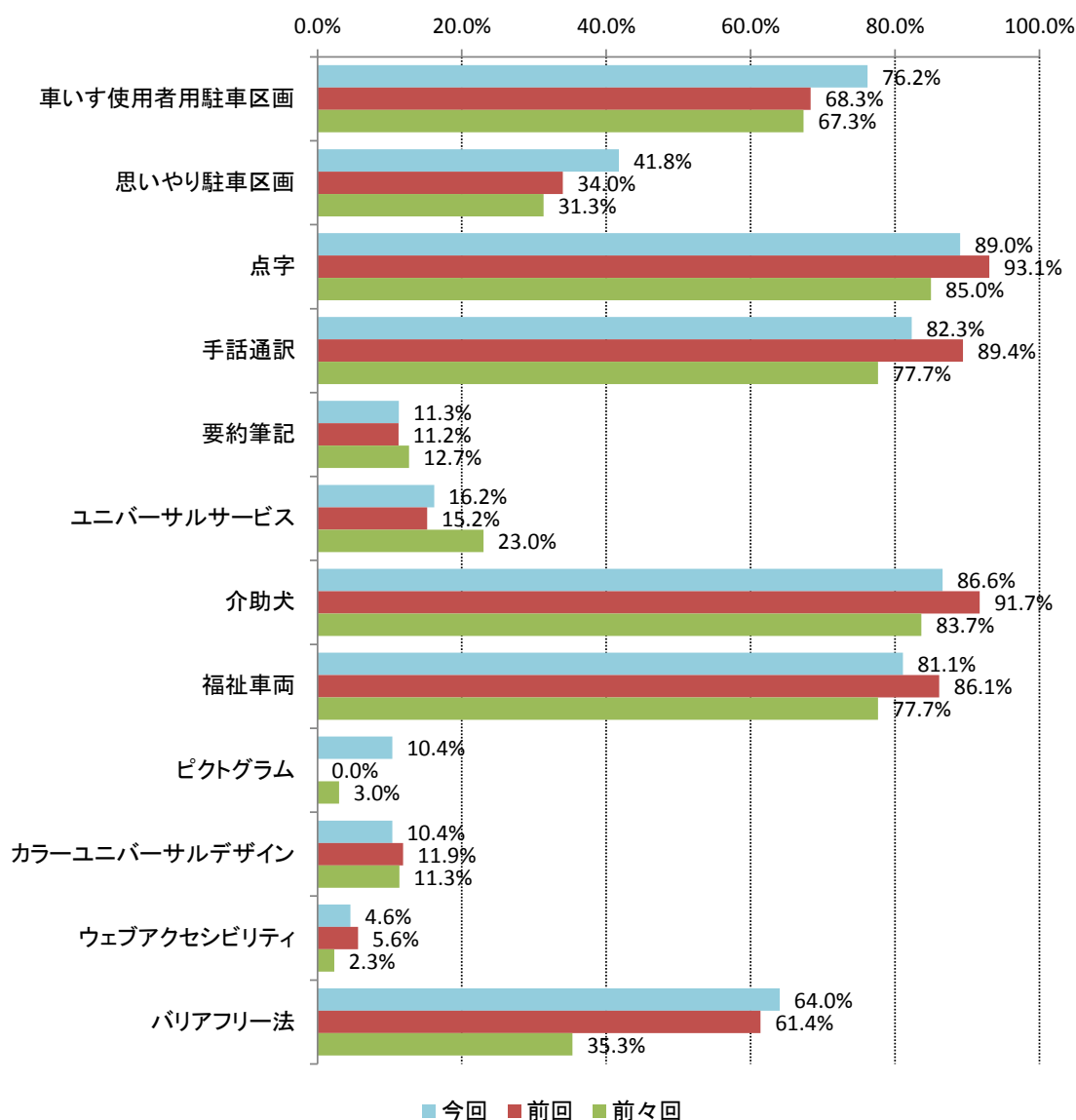
ユニバーサルデザインに関する情報の入手先については、「テレビ・ラジオ」（65.5%）、「新聞・雑誌」（50.2%）が半数を超えていますが、「新聞・雑誌」については、10ポイント減少しました。



問3：次の言葉の中で名前を知っているものを選んでください。（MA）

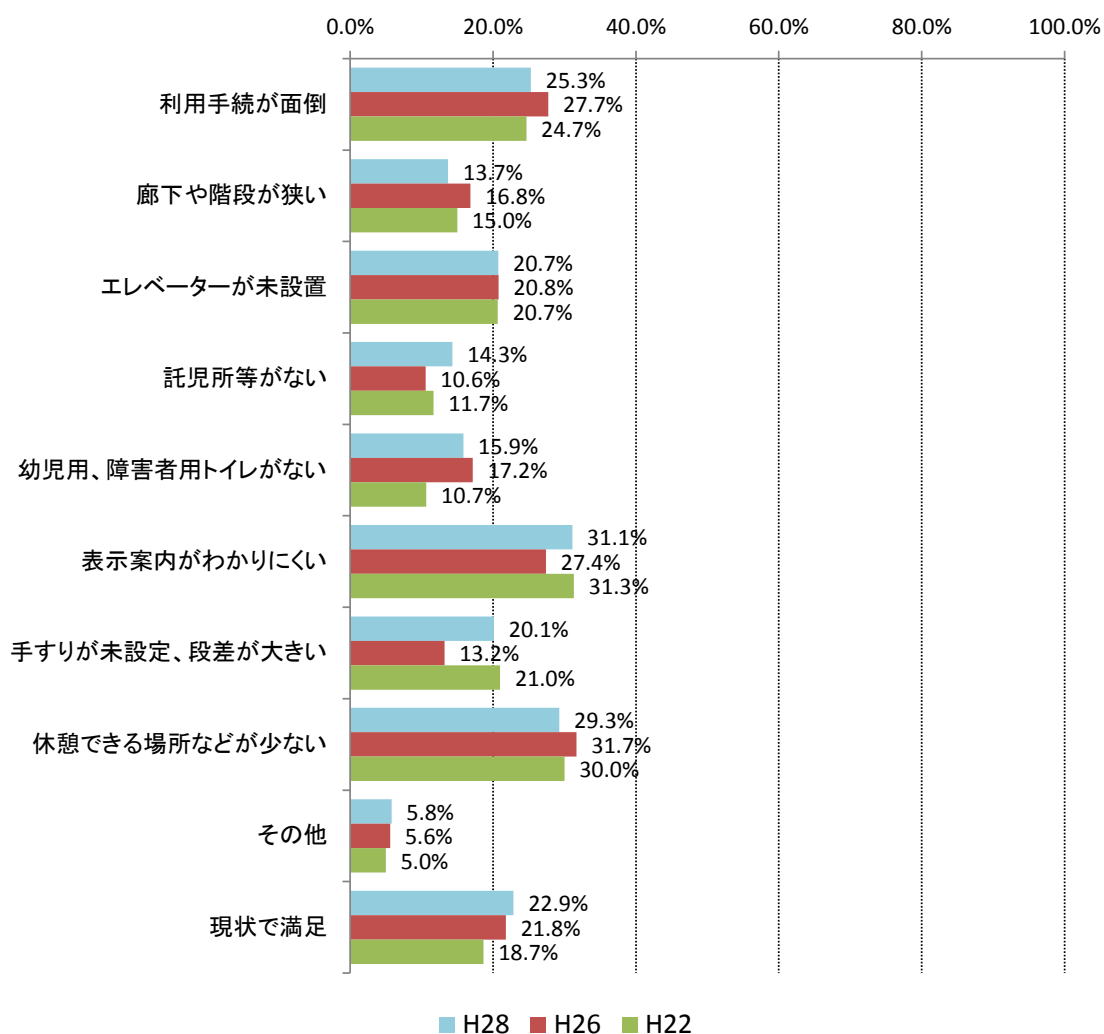
「点字」（89.0%）、「手話通訳」（82.3%）、「介助犬」（86.6%）、「福祉車両」（81.1%）については8割以上が知っていると回答していますが、その割合は前回調査に比べてやや減少しました。

一方、「車いす使用者用駐車区画」（76.2%）や「思いやり駐車区画」（41.8%）、「バリアフリー法」（64.0%）については、割合が増加しています。



問4：あなたは、日頃よく利用する施設（公共・民間は問いません）において、困ったことや不便に感じたことはありますか。（MA）

利用する施設で困ったことや不便に感じたことでは、最も多いのが「案内がわかりにくい」（31.1%）で、次いで「休憩できる場所などが少ない」（29.3%）、「利用手続きが面倒」（25.3%）となっています。



その他のご意見

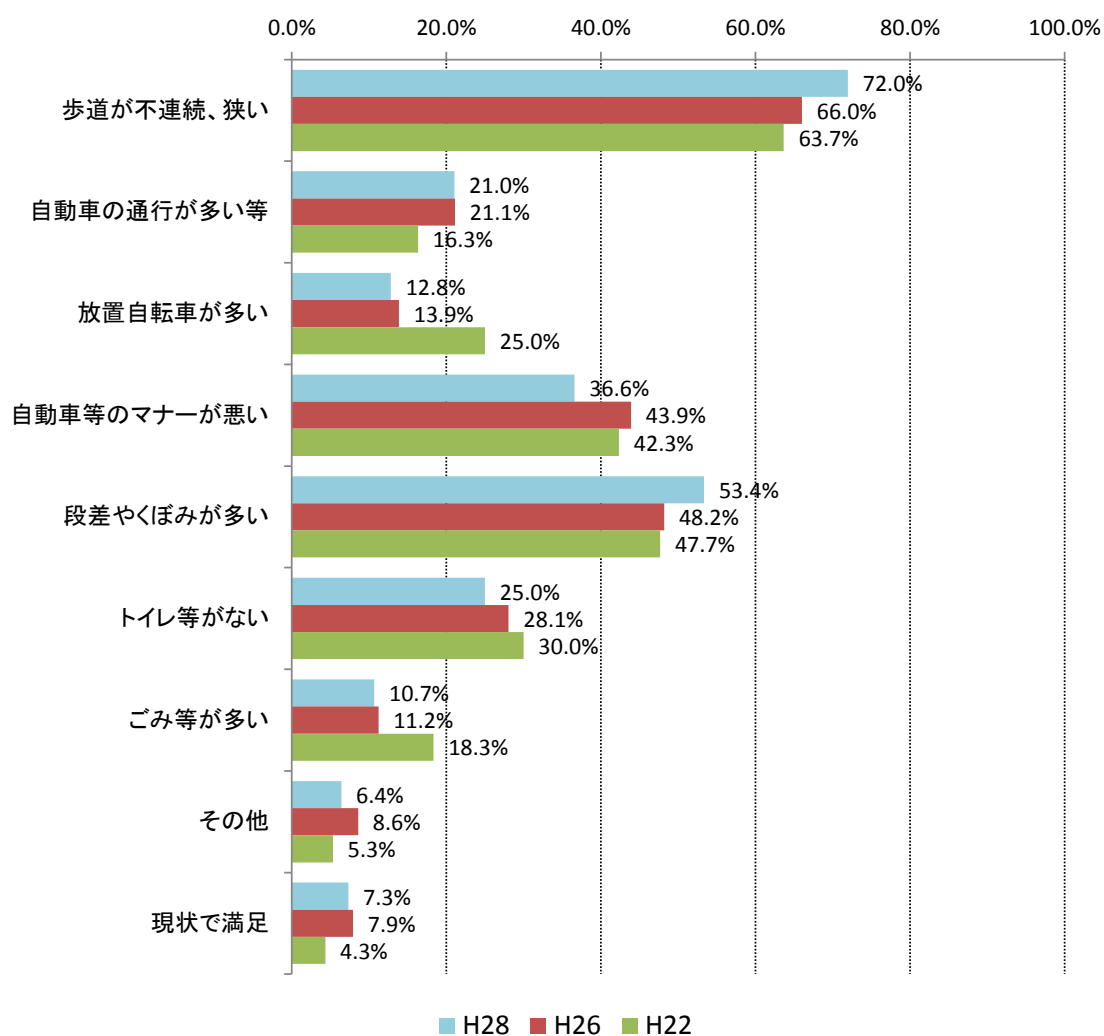
- ・スロープはあるが、遠回りになる。
- ・外国人などへの配慮が行き届いているのは少ない。
- ・幼児用トイレ・授乳室は女性用しかない など



問5：あなたは、日頃よく利用する道路の歩道について、困ったことや不便に感じたことはありますか。（MA）

利用する公園、県内の観光地等で困ったことや不便に感じたことでは、最も多いのが「歩道が不連続、狭い」（72.0%）で、次の「段差やくぼみが多い」（53.4%）とともにその回答率は増加しています。

「自動車等のマナーが悪い」（36.6%）などのその他の項目は、前回調査に比べて回答率は減少しました。



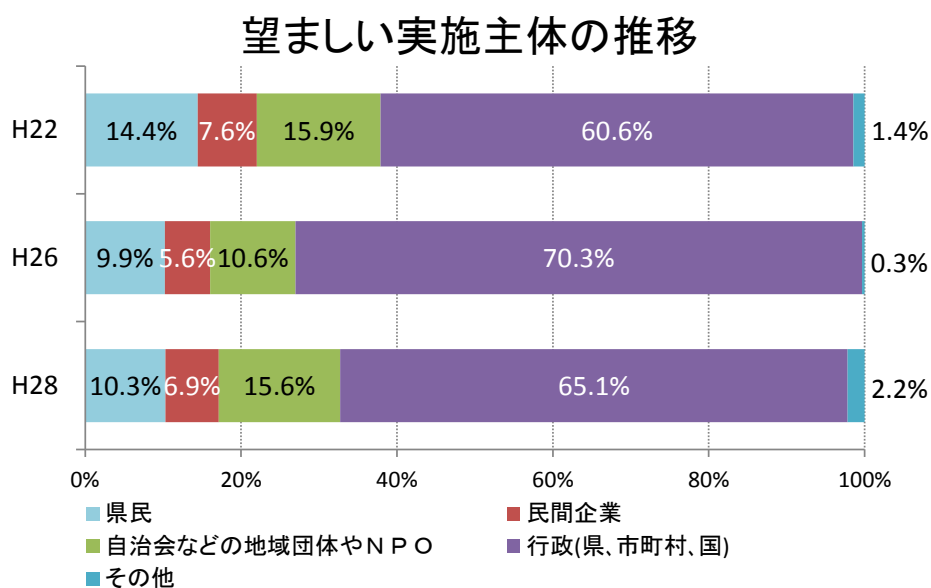
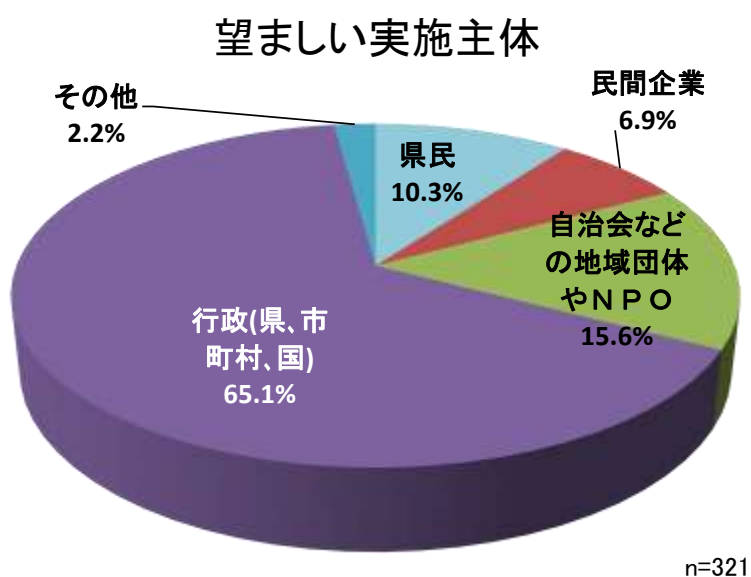
その他のご意見

- ・自転車が乗りにくい道が多い
- ・歩道のない道路も沢山ある
- ・雑草が大きく歩道が隠れている など

問6：地域でユニバーサルデザインを推進していくためには、どこが主体となるべきだと思いますか。（SA）

「ユニバーサルデザイン」の推進主体については、「行政」（65.1%）とする回答が最も多く、「自治会などの地域団体やNPO」（15.6%）が続いています。

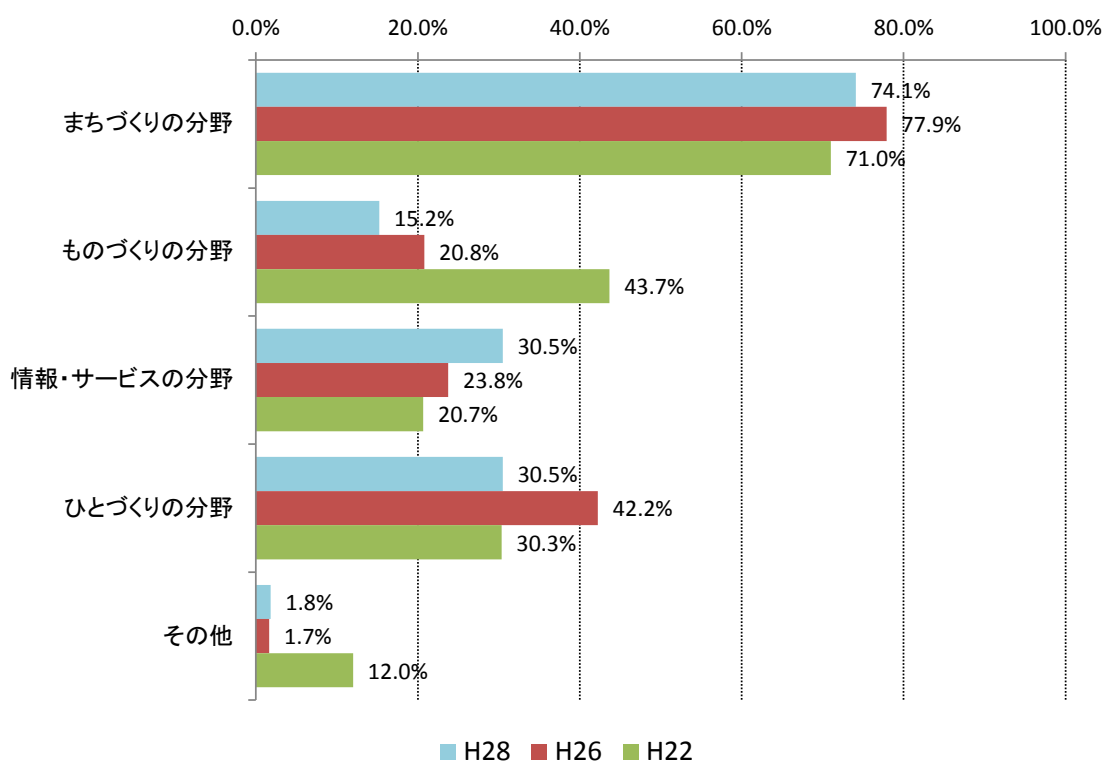
前回調査に比べて、「行政」の割合は減少し、「自治会などの地域団体やNPO」の割合が増加しました。



問7：今後、ユニバーサルデザインの考えに基づく社会環境の整備を進めていくために、特に改善していく必要があると思うのはどのような分野ですか。

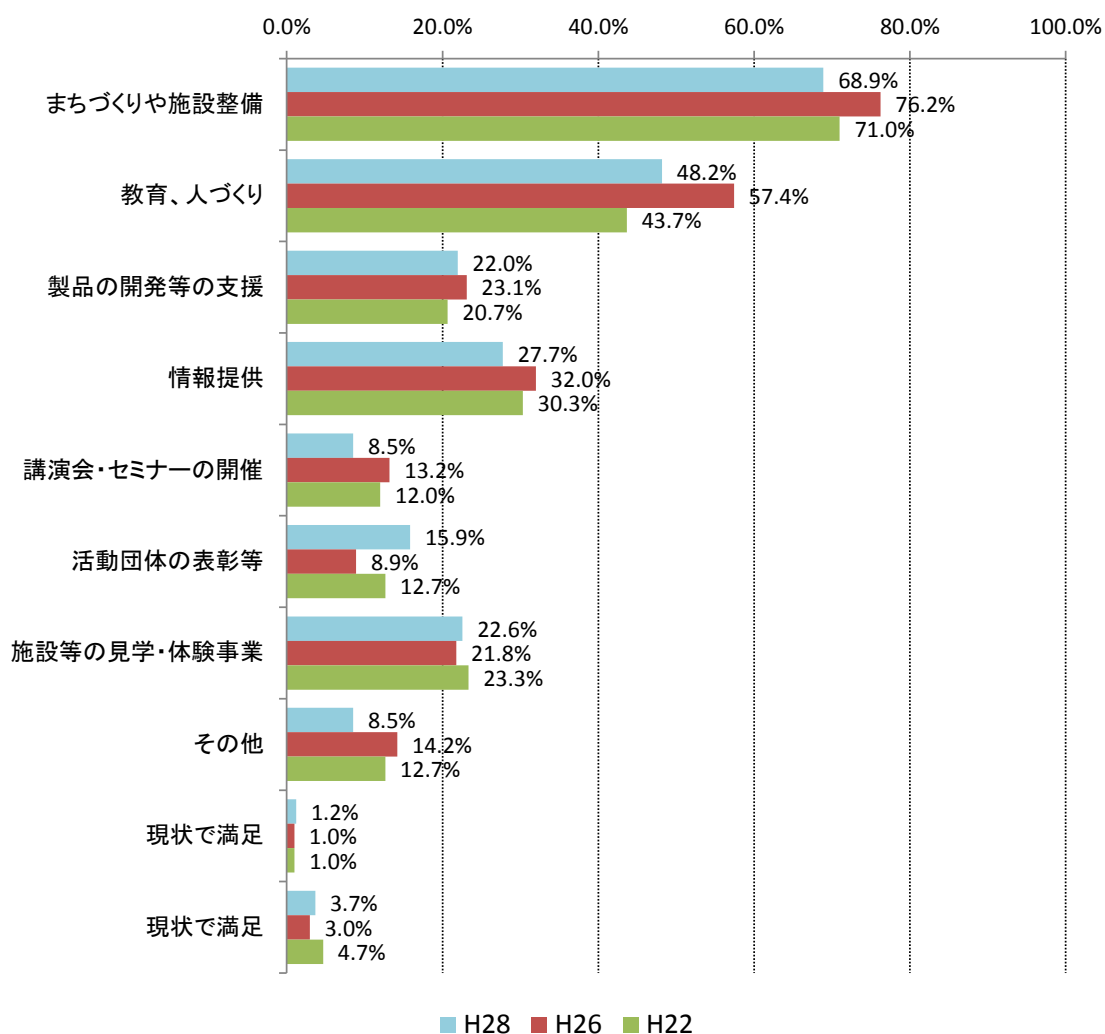
(MA、2つまで)

ユニバーサル社会構築のために特に改善の必要があると思う分野では、「まちづくりの分野」(74.1%)が半数を超える一方で、「情報・サービスの分野」や「ひとづくりの分野」では30.5%となっています。



問8：あなたはユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）を推進していく上で、行政に期待することは何ですか。（MA、3つまで）

ユニバーサルデザインを推進していく上で、行政に期待することでは、「まちづくりや施設整備」（68.9%）が最も多く、「教育、人づくり」（48.2%）が続いていますが、前回調査に比べて減少しました。



問9：「ユニバーサルデザイン」のまちづくりをどのように進めていけばよいと思いますか。あなたの考えをご自由にお書きください。

---

## 主なご意見

### （周知の必要性について）

- ユニバーサルデザインの言葉の意味を先ず理解されるよう、色々な機会を通じて説明することから始めていく。
- 今回のアンケートで初めて知った。先ずは知ってもらうところから始める必要がある。

### （意識、心の問題について）

- 現在健康でいるのであまり不便だと感じない事でも、高齢者や障害者の事となって考えるとユニバーサルデザインがもっと認知され、配慮した物や場所が増えると良いと思う。
- 他人を思いやる気持ちを持てば、自然と何に対しても優しくなれると思う。
- 「全ての人にやさしいデザイン」を進めるには、「人にはそれぞれ状況に違いがあること」や「その違いを受け入れること」への気づきが必要で、「周りの人々と共に生きていく」という意識付けが大切。

### （取り組みについて）

- 新しく造る施設等はだいぶユニバーサルデザインに配慮した造りになってきているが、広まっていくためには、既にある施設等に取り入れていくことが必要。
- 幼い頃から学校等での取り組みが必要ではないか。
- 民間企業を含め色々な場所で、ユニバーサルデザインが普及しだしていることを感じている。県の全地域が同じような進み方が出来ると良い。

### （その他の意見、要望）

- 公、民、企業など一緒になり活動を行うシステムを作って行く。
- 取り入れたり作ったりした後のチェックが重要。

など